

第145回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名													
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話			—		
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)						年	従業員数				人(うち非正規)	人
※1 業種	製造業： A 西陣 ・ B 染色 ・ C 印刷 ・ D 窯業 ・ E 化学 ・ F 金属 ・ G 機械 ・ H その他の製造												
	非製造業： I 卸売 ・ J 小売 ・ K 情報通信 ・ L 飲食店、宿泊 ・ M サービス ・ N 建設												
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。												
主な製品、商品、サービス													
御記入者	部課：			役職：			氏名：						

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	令和4年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			令和5年1月～3月の予想 (令和4年10月～12月期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない	する	しない		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和4年10月～12月の実績)
(令和5年1月～3月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他()

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に)価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他()

(5) 令和4年9～11月期の売上と、過去の売上を比較した際の減少率について、該当するものに○印を付けてください。

	令和元年の同月との比較(コロナ前)					令和2年の同月との比較					令和3年の同月との比較														
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
令和4年9月																									
令和4年10月																									
令和4年11月																									
選択肢	1. 50%以上減少					2. 30%以上50%未満減少					3. 15%以上30%未満減少					4. 15%未満減少					5. 増加				

